

平成二十七年入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

問一 著者の述べる「これまでの少子化対策では出生率が回復しなかった」理由と、著者の提案する少子化対策について要約しなさい。(解

答は三〇〇字以上、五〇〇字以内とすること)

問二 著者の主張に対して、あなたの考えを述べなさい。(解答は五〇〇字以上、七〇〇字以内とすること)

非公開

非公開

非公開

非公開

(松田茂樹「少子化対策を考える」④ 人口維持へ出生率目標を」『日本経済新聞』二〇一四年九月二日朝刊、経済教室より抜粋・一部改変)

【注釈】

注釈① 合計特殊出生率とは、十五〜四十九歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が平均的に産む子どもの数の目安とされる。本文中の出生率は全て合計特殊出生率の意味である。

注釈② 「一・五七ショック」とは、一九八九年の合計特殊出生率が、丙午（ひのえうま）という特殊要因により異常に低かった一九六六年の出生率一・五八より落ち込み、社会に与えた衝撃のことである。なお、丙午とは、六〇年に一回まわってくる干支（えと）の一つで、迷信により、この年に子どもを生むのを避けた夫婦が多いと考えられている。

注釈③ エンゼルプランとは、一九九四年一二月に政府によって示された概ね一〇年間の少子化対策計画のことである。緊急保育対策等五カ年事業とは、エンゼルプランを実施するために策定された、保育の量的拡大や低年齢児（〇～二歳児）保育、延長保育等の多様な保育の充実、地域子育て支援センターの整備等の事業のことである。

注釈④ 「産めよ増やせよ」とは、一九四一年一月に閣議決定された人口政策確立要綱のスローガンのことで、この要綱では、日中戦争下の国策として、一九六〇年に総人口を一億人とする目標が掲げられた。

注釈⑤ PDCAサイクルとは、計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACT）の順に活動を繰り返すことで管理業務を円滑に進める手法のことである。

注釈⑥ ライフデザインとは、働き方、結婚、子育て、住居、老後の暮らしなどについての計画のことである。

平成二十七年入学試験問題（後期日程）

小論文

法学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この小論文の出題意図は、社会科学系学問を専攻するうえで必要な能力を備えているかを見ることにある。本学科のアドミッション・ポリシーである①人間社会や社会諸科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲の有無を判断するため、出題された文章を正しく読解することができるか、また、日頃から社会問題に関心を持ち、自分の考えを論理的に展開する力を備えているかを問うものである。